

ひらめきの導火線



[ひらめきの導火線 下载链接1](#)

著者:茂木健一郎

出版者:PHP研究所

出版时间:2008/8/19

装帧:

isbn:9784569701127

造力、独創性、個性とは、天賦のもの。

そして、日本人には乏しいもの。

—そんな「思い込み」を消し去るところから、すべては始まる。

天才やスーパースターに頼る必要はない。

あらゆる人に開かれた、思考と発想の力を飛躍的に向上させる方法とは? 一見かけ離れたかのように思える「トヨタ」と「ノーベル賞」の共通点に、ヒントは隠されていた。

閃光のように偉大な創造や発明はいつも、日々の小さなひらめきを共有し積み重ねた先に生まれる。

知の現場を駆けめぐる著者が照らす、新たな可能性の地平。

第1章

ひらめきはだれもが持っている—「点火」を妨げるものはなにか（ひらめきはみんなのもの；「日本人には創造力がない」というフィクション；「日本人には個性がない」というフィクション；「日本人には独創性がない」というフィクション）

第2章

ひらめきのネットワークを広げる—「みんなでやる」が燃やす炎（ひらめきのロングテール；ひらめきはみんなで共有する；ひらめきは平等である）

第3章

ひらめきのルートを鍛える—炎を灯す「ものの考え方」（総合のフィールドで闘う；「すごいチーム」のつくり方；独自の強みを發揮する）

第4章

ひらめきのパフォーマンスを高める—「意欲」が照らし出す先（脳が活性化する環境とは；プレッシャーが喜びに変わると；終わりなき探求）

終章

日本を新時代へ導くために—可能性に火をつける（十一歳の敗戦；敗戦者の系譜；明るくさわやかに負ける；インテリよ、外に出よ！；新文明への胎動；日本の可能性の中心を見きわめる）

作者紹介:

茂木健一郎 [モギケンイチロウ]

1962年東京生まれ。脳科学者。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー、東京工業大学大学院連携教授のほか、早稲田大学などの非常勤講師もつとめる。東京大学理学部、法学部卒業後、同大学大学院物理学専攻課程修了。理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。2005年、『脳と仮想』（新潮社）で第4回小林秀雄賞を受賞（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目录:

[ひらめきの導火線 下载链接1](#)

标签

脑科学

日本研究

台版书

创造力

评论

“一人十步莫如百人一步” ——Toyota Motor Corporation

ひらめきの導火線 [下载链接1](#)

书评

ひらめきの導火線 [下载链接1](#)